

県人教だより



内

ふれあい

発行所：鳥取県人権教育推進協議会（県人教）

〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと

電話：0857(22)0578

FAX：0857(22)0593

発行者 岡崎 周治

第44回

人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会を終えて

鳥取県人権教育推進協議会 会長 岡崎 周治

8月8日（木）県立倉吉未来中心大ホールを主会場にして、鳥取県中部で開催した「第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を盛会裏に終えることができました。県内各地から参加者、役員を含め総勢1,700人もの多くの県民が参加し、充実した報告と討議で、研究と実践の交流を深めることができましたと思います。

講演会講師、各分散会の報告者・司会者・研究推進委員・運営委員、そして諸準備から事後の総括・記録までお世話になった開催地役員の皆様、後援団体・関係機関に改めて深甚なる感謝を申し上げます。



報告 第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会 <概要>

<大会参加者数>

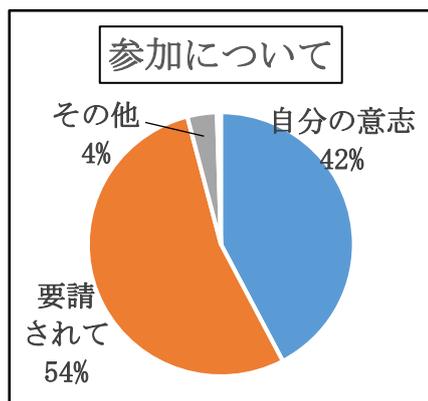
全体会参加者 1,452人 (1,425人) 来賓18名 役員等200名 計約1,700名

分科会参加者 1,317人 (1,285人) ※参加券回収数。()内は昨年度の参加者。

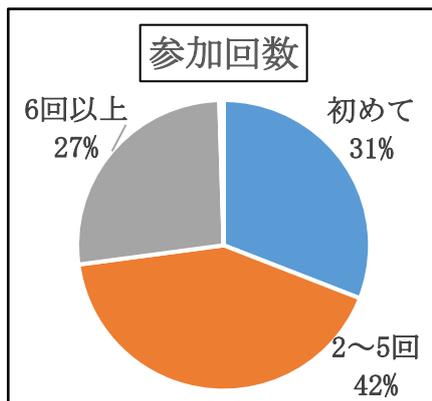
第1分科会 (人権文化社会の創造)		第3分科会 (共生社会の創造)	
1-1	1-2	3-1	3-2
78人	231人	91人	501人
第2分科会 (就学前・学校教育の創造)			第4分科会 (学習・入門講座)
2-1	2-2	2-3	
195人	83人	60人	78人

<参加者アンケートより>

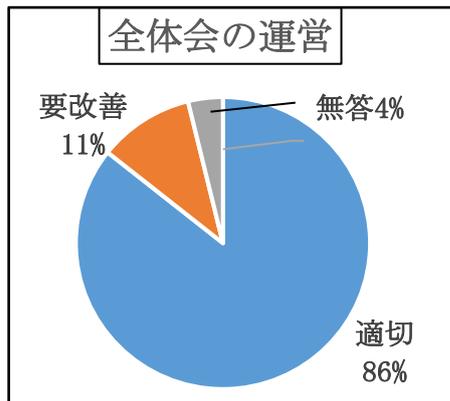
総回答者数 837人 (回収率 58%)



(昨年→今年)
「自分の意志」 38%→42%
「要請」 58%→54%



参加回数「6回以上」が僅かに減少 (30%→27%)。



「全体会の運営」は、86%の参加者が「適切」と評価。講演会の内容も好評。

<講演会の感想>

講師 にじいろ i-Ru (アイル) 田中一步さん 近藤孝子さん

演題 「どんな性の在り方も排除されない園・学校・職場・地域とは？」

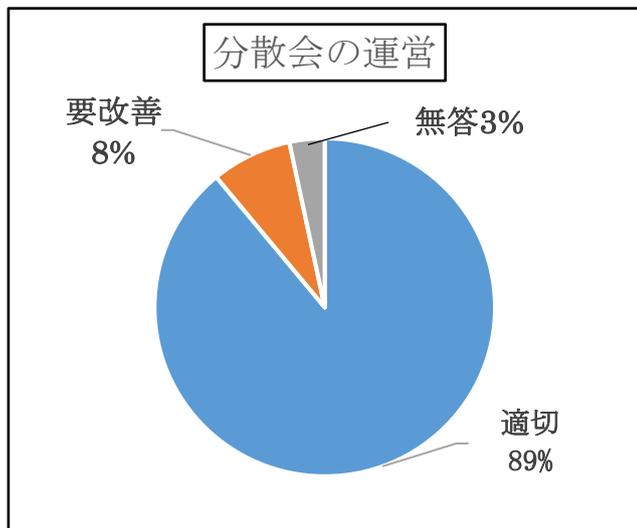
- にじいろ i-Ru さんの講演は分かりやすく、自分のことを素直に話してくださいました。性に対する思いを見直すきっかけになりました。在籍は保育園ですが、子どもたちが1人でも悩まず自分らしく生きていける社会が作れるよう今から子どもとの関わり方を見直していきたいと思えます。出席でき良かったです。
- LGBT や多様な性に関する問題は近年身近なところでも耳にすることが多くなり、しっかり学ぶ必要性を感じていたので大変よい研修の機会となった。
- 性的マイノリティについて自分はじぶんでいいことと社会で認め合うためには、どのような制度や教育が大切かを考えることができた。
- とても心に響きました。自分のありのままを表現し、互いを認められる社会にしないと、と考えさせられた。黙っているが、心の中でいろいろと思い悩んでいる子どもが自らを表現できる環境づくりが大切だと思った。
- 人権について広く深く考えるきっかけになった。自分が知らないところで苦しんでいる人がいる事を知った。年齢関係なく、自分を出せていない人、隠している人を支えたいと思った。
- 身近に接することのないセクシュアリティ。でも個人的に話していけば悩みを抱えている人がいるかもと思った。小さいころからの指導の大切さを感じました。
- 子どもの性はふだん知らされてなく、生きづらさを抱えている子どももいることを知り参考になりました。
- 子どもの多感性について知り、驚きました。以前は我々大人が大人の物差しで子どもの気持ちを押しつけてきたんだと反省しています。

▲今回のテーマはまだまだ認知されていない為理解するのは難しいと思った。

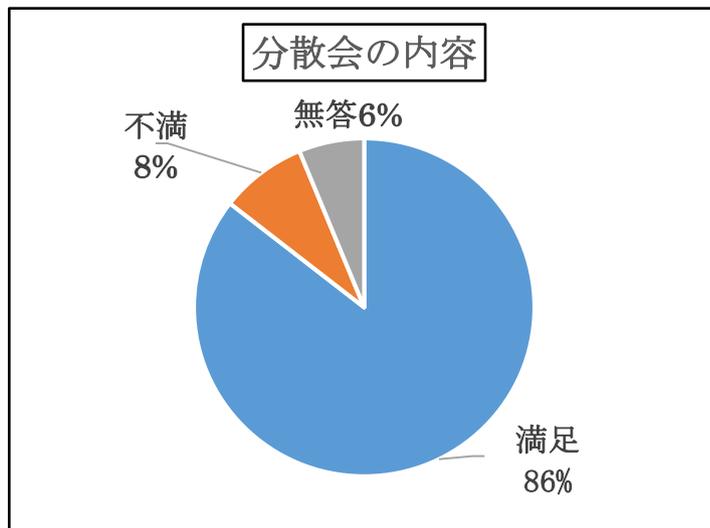
<「全体会運営」に関する感想・意見>

- 来賓紹介、祝電披露が簡潔でよかった。開会にあたっての時間配分は適切だと思った。
- 進行がスムーズであった。あいさつの時間も適度。
- ▲基調提案の中に部落差別解消法を具体化するための条例制定 (改正を含む) の状況を加えること。
- ▲サブ会場での音量や画面サイズを事前にチェックしてほしい。分科会場でのライブビューイング形式。ICTの発達している現在、可能ではないでしょうか。
- ▲全体会の中で10分程度の休憩があっても良かったかなと思います。





「分科会の運営」については「適切」の回答が昨年の85%から89%に増加。



「分科会の内容」については「満足」が約86% (昨年 79%)。

< 「分科会報告・討議内容」の意見から >

- 中国電力の取組を知ることができたことはとてもよかった。田中儀太郎さんの取組を初めて知ってすばらしいと思った。DVDを一から全部見たいと思いました。(1-1分散会)
- 部落問題を真正面から取り上げた英断—素晴らしい。人権文化センターとの連携が素晴らしい。推進委員さんのまとめがさわやかで力強く先に希望が持てるまとめでした。もう一方の推進委員さんのまとめもよく分かる話、具体的、すぐ活用できそうな話でよかった。(1-2分散会)
- 子どもの実態を大切にしていねいに実践を積み重ね上げ、子どもが変容していった内容であった。今後の参考にしていきたいです。(2-1分散会)
- 2本ともとても良かった。教育の現場では教師、指導者の言動が(気持ちに裏付けられた)子どもたちを育てていくのではと感じた。しっかりと話し合いどういう教育を目指すのか意識をもって教育実践したい。部落差別の問題を学校教育や地区学習会にどう再構築するかこれからもう一度検討したい。(2-2分散会)
- 人権教育を教師主導から生徒主導に切り替えられたことに感心した。これは人権問題に限らず全ての課題解決に必要な事。次回は、その具体的方策について聞きたい。(2-3分散会)
- 議論が活発で様々な意見が聞けて勉強になった。(3-1分散会)
- 第1講、第2講、第3講とも充実した内容でした。ろう者のことが良く分かった。台湾の言葉、文化、考え方などを聞き、おもしろかった。たくさんの気づきがあり勉強になりました。(3-2分散会)
- 司会・進行もスムーズで分かりやすく良かったです。3名のスピーカーの方のお話にとっても心を動かされました。この人たちに出会えた子どもやお母さんは幸せだと思います。(4分科会)
- ▲この発表でどんなことを中心に話すかは会場から出なければ司会等で準備すべきと思いました。十分な討議時間が持てたらいいと思いました。議論が深められる「話し合いの持ち方」の工夫を。(グループ等)
- ▲参加者が主体的に参加できるような形態を。例年通りを踏襲していくのでは衰退していくと思います。
- ▲分科会で意見が活発に出来る工夫が欲しかったです。より具体的な内容が伺えなかった点が心残りでした。

< 「分科会の時間・運営について」の意見から >

- 研究推進委員さんの助言はとても参考になった。解決の糸口になった。
- 司会者がしっかりと進行されていてとても好感が持てた。
- ▲会場が遠い分、昼休憩の時間がもう少し欲しかった。お弁当をもう少しスムーズにもらえると良かった。
- ▲タイムスケジュールについて、口頭だけでなく、ペーパーで示してほしいです

<その他 感想>

- 全体会も分科会も、とても勉強になる良い会でした。職場に持ち帰り職員同士考えたり、保育に生かしたりしたいと思いました。
- 熱意ある実践に感動しました。子どもを支える、集団にかかわることの大切さを再認識しました。明日からの実践につなげていきます。
- 全ての内容がつながっているということが強く感じられました。その核となっていたのが午前中の講演だったと思います。とても充実した1日でした。ありがとうございました。
- それぞれの講演で学ぶことがあり、共通して一人一人を知るることの大切さや自分の思い込み、当たり前で動いていないか、見直そうと感ずることができました。ありがとうございました。
- 第4分科会とても良かったです。心温かくなりました。皆さんの団体活動にとっても感心しました。
- いろいろな問題に出会わせていただきました。良い大会でした。次回も参加したいです。



- ▲参加者の固定、年代、あるいは運動継承等、課題も見える。より開かれた研究集会のための工夫が必要。

- ▲「人権」というものが多様化してきて、いろいろな意見が幅広く出てくるが、深く（特に同和問題）1つのものにかかわって来られた方との思いが合っていないような感じもしました。
- ▲駐車場の完備をもっときちんとしていただきたい。行くところ満車で、結局、球場、市役所まで行った。会場まで車を置いてから歩いたがかなりの距離だった。駐車場の係も連携が取れていない。



第71回全国人権・同和教育研究大会 (三重大会)

期日:2019年11月30日(土)~12月1日(日)

☆県内報告者

河上英仁さん、船越康裕さん(南部町立西伯小学校)

永見幸久さん(岩美町立岩美北小学校)

☆全人教実践報告協力者(司会者)

橋本智洋さん(鳥取県教職員組合)

坂口俊広さん(県立鳥取西高等学校)

佐藤淳子さん(とっとり震災支援連絡協議会)

※分散会で主に司会や総括をされます。

事務局:たくさんのご意見・ご要望をありがとうございました。来年度の集会に生かしたいと思います

来年の第45回研究集会は
2020年
8月6日(木)
米子コンベンション
センターです。